

平成30年度半田市障がい者自立支援協議会

第2回事業所連絡会（第1回防災・減災啓発講演会）

ダイジェスト

今回の事業所連絡会は阪神・淡路大震災で被災され、地域の繋がりによって助けられた障がい当事者である玉木氏を招き、災害時にとるべき対応、とってほしい対応を障がい当事者の視点から講演いただきました。

- 講師 : 玉木 幸則 氏
- 日時 : 平成30年7月30日（月）10時00分～12時00分
- 場所 : 半田市役所 大会議室
- テーマ : 「いのちを守る地域の力！～地域の繋がりが防災・減災につながる～」
- 参加人数 : 80名

玉木幸則さんの紹介

- ・社会福祉法人西宮市社会福祉協議会の職員として働いており、NHKのEテレで放送されている障がい者のための情報バラエティー「バリバラ」にレギュラー出演されています。
- ・今回は、1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災で被災し自宅で埋まっていたところを地域の人達に助けられたことやその後の避難所生活など、当時の様子や玉木氏が考える防災・減災に繋がる具体的な取り組みとして、1人1人が震災の際に日常的な生活がすぐできるようにするには、どうすればよいか日頃から考え続けることが大切であるなどの話をされていました。



□阪神淡路大震災の経験を通して

1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災により、自宅のアパートの下敷きになり、救助されました。その当時の様子を写真を交えて、被害の大きさや避難所での生活などを伝えていただきました。

□東日本大震災から考える大切なこと

2011年3月11日に発生した東日本大震災を通して、復興とは元どおりにするのではなく、新しく作っていくことではないかと当時のVTRを見ながら伝えていただきました。

□こんな日本にしたい

まとめとして、「障がいのある人もない人も地域で助け合いながら、その人らしい暮らしを」と共生社会の実現に向けて、各種法律の説明を踏まえ、伝えていただきました。

被災された際に特に困ったこと

- ・避難所までの道のりが被災した瓦礫などで通行が困難
歩行が困難だったため苦労した
- ・避難所での生活（トイレ、配給等）
- ・避難所での障がい者への配慮

講演会参加者の感想

- 被災体験のお話として参考になりました。特に避難所での生活の様子を聞き、私たちの地区では、まだまだ考えることが沢山あると感じた。地域の高齢者、障がい者と日頃から情報交換することが減災に役立つのかなと思いました。
- 日頃からの地域での関係性やコミュニケーションで、「いざ」という時に有機的な結果となることを再確認できました。

（たくさんいただいた感想の一部を抜粋しました。）



お問い合わせ先

半田市障がい者相談支援センター（小島・森）

TEL：0569-21-5585

半田市 地域福祉課（杉浦郁・杉浦友）

TEL：0569-84-0643